

地域おこし協力隊 りレーコラム



田代 俊之 隊員 令和7年4月着任
活動内容：近代化産業遺産を活用した
観光を復活・再生に導く
「明治百年プロデューサー」

「小坂鉱山鉄道鍋」出発振興！ ― 次は“ザクセン風” ―

鉄道まつり2日間とも鉄道鍋は完売となりました。収益は小坂鉄道保存会の活動に充てられ、文化遺産を守る力となります。ご来場・ご支援に心から感謝申し上げます。

会場では鉄道鍋の由来を紹介する展示や説明も行い、鍋を待つ時間が“学びの楽しみ”となるよう工夫しました。アンケートでは、味・スタッフ対応・展示説明が高く評価され、「家族で楽しめた」との声も寄せられました。一方で、「鍋の仕組みを知りたい」「並ぶ場所を分かりやすく」などの改善提案もいただきました。

鉄道鍋は、スペイン北部・La Robla鉄道沿線にゆかりのある調理器具であり、その鍋で作られる料理です。もともとは、機関士や車掌が長距離の石炭輸送の道中で温かな食事を取るために使われた“鉄道マンの鍋”として親しまれてきました。小坂町での初披露は、日本で最初の活用事例でもあり、鉱山鉄道の歴史を持つ町ならではの取り組みとなりました。

現在は第2弾として、「クリスマスマーケットin 小坂2025」での限定販売に向け、『小坂鉱山鉄道鍋―クルト・ネッターが食べたかもしれないザクセン風―』を「みんなのお店わいわい」とさんと開発中です。クルト・ネッターの故郷ザクセン地方のジャガイモスープを参考に、ソーセージ、長ネギの甘み、じゃがいもの自然なとろみ、ハーブ(マジョラム)と少量の酢を合わせた、冬にぴったりの素朴な味わいです。

皆さんのお越しを心からお待ちしております。



小中一貫教育情報 つながり



● 1～4年生が力を合わせて楽しみました！「ホップまつり」



11月20日、「なかよく協力して楽しもう」のテーマのもと、「ホップまつり」を行いました。これは、小学校1～4年生が各学年ごとにゲームを企画・準備し、縦割り班のチームでゲーム会場を巡って楽しむ集会です。「たからさがし」「ダンボールたおし」など8つのゲームが準備され、クリアするともらえる「にっこりマーク」を集めながらゲームを楽しみました。異なる学年で交流を深め、思いやりや協力の心を大切にすることができました。

また、4年生が集会の運営を率先して行ったり、ホップ学園のリーダーとして活躍したりしました。下級生も各学年のゲームで自分の役割をがんばるなど、自分たちで力を合わせ、楽しい集会を作り上げました。

● 小中合同委員会企画(放送委員会)

令和7年度の小中合同委員会企画の最後として、放送委員会担当の「朝に小中でなぞとき」が、10月28日に行われました。学校に関するクイズを、小1から中3までの縦割り班で相談して考え、代表の学年が答えるというものでした。班の代表による早口言葉大会も行われ、見事な早口言葉を披露した子には拍手を送り、盛り上がりました。



● 寒さに負けず元気なあいさつを！

小学校運営委員会で、あいさつ運動に取り組みました。朝の登校時間帯に、寒さに負けないあいさつをしようと呼びかけました。11月10日から1週間の研修に訪れた埼玉県八潮市の5名の先生方も、小坂の子どもたちは、心のこもった質の高い



あいさつがすばらしいとお話してくださいました。これからもがんばります。

■お問い合わせ先 小坂小学校(TEL29-2422) 小坂中学校(TEL29-3232)